

鳥取県に Uターン

県外で働いた後に再び
生まれ故郷に戻って働く2人に、
Uターンのいきさつや
鳥取の魅力を聞きました。





地域と共に 会社を発展させたい

株式会社上代 代表取締役社長

えんどう

遠藤 みさと さん

米子市出身。関西の大学へ進み、大阪でコンサルティング企業に就職。在学中、故郷で挑戦したビジネスの経験が忘れられず、2021年9月にUターン。同年12月に「どぶろく」を製造販売する株式会社上代の廃業危機を知ると後継者に名乗り出て、翌年8月、4代目社長に就任した。

Uターンのきっかけ

大阪で就職したコンサル企業は、「やりがい」のある仕事でしたが、「この仕事は私でなくてもよくない？」と日々、自問自答していました。「自分らしく働く」ことを考えたとき、大学在学中に米子でタピオカ専門店を出店したことが思い浮かびました。地元企業の支援やたくさんの方が背中を押してくれて…。元々、チャレンジをしたい性分もあって、それなら、「鳥取で自分らしく働こう」と決意しました。

現在の仕事内容

経営に限らず、製造、営業、事務など業務全般に携わっています。元々、地域おこしを目的に設立された会社なので、その創業理念は大切にしながら、ECサイトの立ち上げ、SNS広告など新たな企画をスタートさせています。商品開発では、特に甘酒のリブランディングに力を入れています。



鳥取のココが好き

人が温かく、海も山をあって、四季の変化を五感すべてで感じられる自然が豊かなところです。県外に出て、この環境が当たり前でないことに気付かされました。上代もこの環境や地域の中で生かされていることを実感していて、地域と共に発展していけるよう取り組んでいけたらと思っています。



離れて気付いた 鳥取の良さ

丸由百貨店 営業企画室 店舗開発リーダー

たかしま ゆう

高嶋 優 さん

大学卒業後に就職した東京の海運会社で5年間働く。その後、ふるさとにUターンし、2021年4月に当時の「鳥取大丸」入社。現在は、店名が変わった「丸由百貨店」の営業企画室店舗開発リーダーを務める。27歳で結婚、1児の父。鳥取市出身、33歳。

Uターンのきっかけ

高校生まで過ごした鳥取の快適さに気づいたことが、一番大きいですね。進学当初からUターンは全く頭になかったのですが、都会暮らしが長くなるにつれ、気持ちが変わってきました。大学で学んだ知識を生かせる海や船の仕事が鳥取で見つからなかったのですが、もともと自分で商売がしたかったので、いろいろな分野の人、お客さまと関われる百貨店の仕事を選びました。自分の可能性を試せるいい仕事に出会えたことも、背中を押してくれました。

現在の仕事内容

テナントの入れ替えや催事・物産展の企画、広報など仕事は多岐にわたります。鳥取の「いいもの」をお客さまに再認識してもらおうと、個人的には地元の美術工芸品の販売に力を入れています。ある程度、仕事を任せてもらえる環境にあり、やりがいがあります。



鳥取のココが好き

今、暮らしている鳥取市のまちなか。混雑もなく、何事も歩いて完結できるコンパクトな街が気に入っています。子育てもしやすく、動物がいる真教寺公園などにもよく行きます。鳥取を離れてみて、その良さに気付くことはたくさんあると思います。